

A

平成二十五年年度個別学力検査問題(教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、七ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

(宇野重規『私』時代のデモクラシー』より)

問一 傍線部①「トクヴィルのいう『平等化』とは、独特な概念です」とあるが、どのような意味で独特だといえるのか、本文に即して説明しなさい。

問二 筆者はこの問題本文の後に次のようにも述べている。次の文章をふまえて、傍線部②の「人々を隔てていた想像力の壁」とは「想像力」が「壁」の内と外とではそれぞれどうなり、どういう結果をもたらすというのか、説明しなさい。

本文省略

(1) 傍線部③に述べる時代について、本文中では二種類の用語で表現されている。その二つを「……の時代」という形で記しなさい。

(2) 傍線部④に述べる事態は本文中では二種類の六文字の用語で表現されている。その二つを記しなさい。

問四 傍線部⑤のように筆者が言う理由を「壁」の語を用いて説明しなさい。

問五 傍線部⑥「奇妙な不安定さ」とはどのような事態か、本文に即して説明しなさい。

問六 傍線部⑦「多数の暴政」とはどのような事態か、本文に即して説明しなさい。

問七 「多数の暴政」が発生する理由を「平等化」「個人の自意識」の語を必ず用い本文全体の論旨に即して一五〇字程度で説明しなさい。

— 次①〜⑤のカタカナの語を漢字に直しなさい。

- ① 偶然が重なり、災難をマヌカれる。
- ② エルやかな坂道を下る。
- ③ 高価な皿をムゾウサに洗う。
- ④ 彼の話にはミヤクラクがない。
- ⑤ 自然界では水がジュンカンしている。